

みんなで創ろう！いつまでも元気な笑顔が輝く支え合いと安心のまち

重点課題

- 1 高齢者の相談窓口の強化・充実
- 2 健康への意識の向上
- 3 高齢者の社会参加による生きがいづくり
- 4 認知症高齢者を見守る地域づくり
- 5 在宅介護を支える地域づくり

1

住み慣れた地域で暮らし続けるために～地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化・推進と生活支援の充実

- (1) 地域共生社会の推進、相談支援体制の充実
- (2) 医療計画との整合性の確保、医療と介護の連携体制の構築
- (3) 高齢者の権利を守る支援の充実
- (4) 地域ぐるみの高齢者支援の推進
- (5) 高齢者福祉サービスの充実
- (6) 住み良いまちづくりの推進
- (7) 安全・安心のまちづくりの推進

2

いきいきと活動するために～介護予防と生きがいづくり・社会参加の促進

- (1) 健康づくりと疾病予防の推進
- (2) 介護予防の推進
- (3) 就労・ボランティア活動の促進
- (4) 生きがい活動の推進

3

認知症の人を地域で支え合うために～認知症施策の推進

- (1) 地域における支援の充実
- (2) 家族に対する支援の充実
- (3) 認知症支援体制の構築

4

介護が必要となっても安心して暮らすために～介護保険事業の充実

- (1) 居宅サービスの充実
- (2) 施設・居住系サービスの充実
- (3) 市町村特別給付の実施
- (4) 利用者本位のサービス提供の推進
- (5) 介護者支援の充実
- (6) 介護人材の確保と資質の向上

■相談体制について  
・介護保険利用前から身近な相談者の存在が必要である。相談に対応できる人材資源の開発・育成ができればよい。

■高齢者の社会参加  
・介護予防に取り組む人が増えている一方で、社会活動に参加する人が減少している。気軽に取り組めるような拠点づくりができればよい。  
・地域での活動には核になる人材が必要である。

■認知症高齢者の見守り  
・キッズサポーターの養成を小中学校で実施し、地域ごとで支える体制を構築することが必要である。

■在宅介護を支える地域づくり  
・地域の助け合い体制やボランティア体制を構築し、近所の見守りや移送などの支援を行う仕組みづくりが必要である。これにより、在宅での看取り介護や、孤独死の減少につなげていければよい。

■在宅医療について  
・在宅介護生活を続ける上で、往診してもらえる医師が少ない。また、情報も少ない。  
・訪問リハビリや訪問歯科など、医療サービスの充実が課題

■高齢者福祉サービスの充実  
・週1回の買い物バスを楽しみにしている人がいる。更なる充実した支援が必要である。

■安全・安心のまちづくりの推進  
・感染症対策が必要である。  
・アフターコロナの高齢者施策について検討が必要である。

■健康づくりについて  
・成人期から運動習慣を身につけ、介護予防に取り組む必要がある。

■介護予防について  
・フレイル予防のためにも、外出支援が重要である。

■ボランティアについて  
・ポイント制度などインセンティブが発生するような活動支援ができるとよい。

■生きがいについて  
・趣味や生きがいをもつことは、と地域活動とリンクしているため、地域活動や公民館活動と連携を図っていく必要がある。

■認知症支援体制の構築について  
・認知症に関する相談窓口や、事業の認知度が低い。名張市の「まちの保健室」のようなものが身近にあるとよい。

■介護者支援の充実について  
・精神的な部分も含めた介護家族への支援や、移動手段の確保が必要である。  
・主たる介護者として、「息子」の割合が増加している。これは、仕事と介護の両立について「問題はあるが続けていける」が1割増えていることと関連がある。  
・主たる介護者として、「息子」の割合が増加している。これは、息子嫁の介護拒否により訪問介護やヘルパー訪問が増えているからである。  
・男性介護者が仕事と両立できるような介護負担軽減として、ヘルパーの増員や男性介護者の集いなど、体制整備が必要である。  
・感染症や災害対策への体制整備が必要である。